（様式⑦-1）　確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　令和7年度　学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像・・・「難しい課題でも、創意工夫しながら解決し、挑戦しつづける子」

堺市立上野芝中学校
校 長　江戸　善信

学校教育目標；自ら動き,協働し,挑戦する生徒の育成
重点目標（組織目標）；自ら動き,協働し,挑戦する生徒を育てるため,少人数・ノート指導,生徒PC・ICT活用,指導方法の工夫等による基礎事項の理解・定着,学力向上,自身で考え・対話・追求・発表・表現,自己決定・試行錯誤・成功体験積み重ねの支援,共有した生徒情報をもとにした相談機会や指導の充実,違いを認め合い,いじめを許さない仲間づくりをすすめる。

確かな学びの現状

自分で考え,それをもとに他の生徒と一緒に学びを深める生徒の姿が見られ,教員は主体的,対話的で深い学びの実現をめざした授業づくりをすすめている。把握した生徒の学びの状況をもとに授業改善をさらに進め,自身や複数で考え・対話・追求・発表・表現する機会を充実させたい。

豊かな心・健やかな体の現状

授業はもとより文化的・体育的行事での生徒主体の活動や仲間づくり,道徳授業や日常の声掛け,教育相談,外部講師から学ぶ時間等を通し豊かな心・健やかな体を育む取組を行った。中2全国体力・運動能力,運動習慣等調査体力合計点で男女とも全国及び堺市を上回った。さらに充実させ,自己決定、試行錯誤,成功体験の積み重ねを支援し,共有した生徒情報をもとに相談機会や指導の充実,違いを認め合い,いじめを許さない仲間づくりを進めたい。また,体力向上と健康保持増進に向けた取組も進めていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組） （★中学校区での取組に係る取組内容）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～１２月）		達成状況(年度末)　※学校教育アンケート結果表示　・数字は%・生徒➡[生]　・保護者➡[保]　・教職員➡[教] 自己評価（R6より3%以上向上:↑）		学校関係者評価	
確かな学び	学力向上と授業改善	基礎基本の理解・定着と学力向上	●少人数指導，ノート指導，生徒PC・ICT活用や指導方法工夫等により，基礎事項の理解・定着，学力向上を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート，各調査結果,授業や活動の観察，研修実施等実践報告	年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○	[生]「私は授業にまじめに（集中して）取組んでいる」89 「(授業は)この時間で学ぶことが分かり,分かりやすい」83 [保]「(子どもは)授業が分かりやすいと言っている」64 「進んで家庭学習に取組んでいる」49➡[生]64　**★改善が必要** [教]「授業や補充学習等を活用し基礎基本を振返る機会を設けている」93(↑)「【教え込む授業】から【生徒が考える授業】への転換を図っている」82(↑)**★専門家講師招致研修3回実施**	○	・「生徒が考える授業」に転換を図っていることは良い取り組みだと思います。自分で考え、行動できることが、子どもたちに定着していくことを願っています。 ・学校の授業に関しては、生徒も先生も高い評価の結果が出ていますが、一方で家庭学習については保護者も含めた3者とも評価が低いのが気になります。 ・タブレットなどを利用し、先生方のご負担にならないような工夫をしながら、家庭学習の進み具合を把握する仕組みがあれば、よいと思います。
			授業のねらい・目標を明確にし，振り返りを行う。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○		○	
		主体的，対話的で深い学びの実現をめざした授業改善	●★自分で考え，まとめ，発表・表現する，複数で対話・追求・認め合う機会を充実	アンケートによる肯定的評価80%以上，調査結果経年比較		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○	[生]「先生は教え方を工夫している」91（↑）　「授業で自分の考えをまとめたり発表したりすることがよくある」61(↑) **★重要課題であり今後も授業改善に向けての対策を一層強化する。** [保]「教員は授業を工夫し改善しようとしている」81(↑) [教]「定期テストの分析を行い生徒の現状を把握し指導改善に活用」93(↑)　「指導方法の工夫等により基礎基本の理解定着を図っている」97(↑)　**★今年度,校内研修で学期毎に学年別研究授業を実施,班別反省会,全体研修の場を設定し「生徒が主体的に取組む授業」に向け指導方法の工夫や授業改善に取組んだ。**	○	・「先生は教え方を工夫している」という生徒の意見が高いのは素晴らしいが、「自分で考えて発表する」については、先生の自己評価の高さと比べて生徒自身の評価の低さが気になります。発表したり、考えをまとめたりすることもipadを使用し、発表が苦手な生徒も考えを共有できる場があれば良いと思います。 ・先生方の研修や自己研鑽の努力の賜物でアンケート結果が向上していることは素晴らしいと思います。
			課題設定，教材工夫，ICT活用等による授業改善 学期に1回，校内研修で学年を替えての研究授業を実施する。	アンケートによる肯定的評価80%以上，調査結果経年比較		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○		◎	
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実と体力の向上	自己肯定感を高め，豊かな人権感覚を身につけ，行動しようとする態度の育成	●★自己決定，試行錯誤，成功体験積み重ねの支援	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート，各調査結果,授業や活動の観察，研修実施等の実践報告	年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○	[生]「学校に行くのが楽しい」90(↑)「豊かな心の在り方や平和・人権について学ぶ機会が多い」87 **「自分の良さを知り自分が大切,自分が好きという気持ちを持っている」86(↑)**　**「自分と同じように他の生徒も大切な人間であるという気持ちを持っている」95(↑)**　「授業に真面目に取組んでいる」89「学校では自分の良いところを出す場面がある」76　**「(体育大会や文化活動発表会等)学校行事に積極的に取組んでいる」95(↑)** [保]**「学校はいじめを許さない仲間づくり,違いを認め合う教育を推進している」82(↑)**「教職員は全ての教育活動において生徒の人権を尊重する形で指導にしている」81 **★一層の推進が必要**	◎	・「学校に行くのが楽しい」「学校行事に積極的に取り組んでいる」と思っている生徒たちが90%以上なのが素晴らしいと思います。学校行事で子どもたちが一生懸命取り組む姿や、その生徒を熱い思いで見守る先生方の様子を見させていただき、感動しました。 ・豊かな心の教育に関する質問で、学年ごとに肯定的評価に差が出ているのが印象的でした。3学年まとめての評価だけでなく、時には学年別にみることも重要と感じました。 ・不登校の増加は心配ですが、多様な学びの場があることを周知し、認めてほしいと思います。
			道徳授業及び全ての教育活動で人権意識向上を図り，教職員研修の充実に取組む。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○		○	
			●支援を必要とする生徒の情報を共有，相談機会の充実，違いを認め合い，いじめを許さない仲間づくりをすすめる。	アンケートによる肯定的評価80%以上		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○		○	
		運動に親しむ態度の育成，健康の保持増進，体力向上	体育指導の充実に努め，運動を楽しむ機会，環境を充実させ，体力向上を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上，調査結果経年比較		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○	[生]**「体を動かすことが楽しい,自分の体力は以前より向上したと感じる」88(↑)**「命の大切さや健康を保つことの大切さについて学ぶ機会が多い」90　**★体育や部活動の充実に取組む。** [保]「学校は生徒に命の大切さや心の健康を保つ態度を育てようとしている」87 **★命の大切さや日々の健康教育を推進する。**	○	・中2全国体力・運動能力などで男女とも全国及び堺市を上回ったことは素晴らしいです。今後も体力向上をめざしてほしいです。 ・自分の体を大切にすることをより一層教えてほしいと思います。喫煙や薬物など、自分のためにはやってはいけないという意識をもってほしいと思います。
新たな学校づくり		地域協働の充実	学校群の取組推進，ホームページ活用，地域理解授業やオープンスクール等の実施により地域協働の充実を図る。	アンケートによる肯定的評価80%以上	学校教育アンケート等各調査結果,授業や活動の観察，研修実施等の実践報告	年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○	[保]「学校・学年便り,HP等で教育活動をよく知らせている」79 「保護者は学校行事やPTA行事によく参加している」58 [生]「担任の先生以外にも相談できる先生がいる」88「困っている事や悩みを相談したとき先生は親身になって応じたり対応してくれる」88**「クラスでは軽い話を誰とでもできる」88(↑)** [保]**「教室は整理整頓,環境整備されている」91(↑)**「子どものことについて学校に相談しやすい」69　**★課題改善に取組む。** [教]**「生徒の悩み事に寄添い生徒を伸ばす生徒指導に取組んでいる」97(↑)　★回答のギャップ➡★学校の取組発信,周知を強化。**	◎	・「地域の歴史」授業や「認知症サポーター講座」のような地域協働の機会が増えることを望みます。コロナ前に行っていた地域での職業体験が復活できればうれしいです。 ・地域から様々な分野で仕事をしている方々をゲストティーチャーで招いた職業講話もキャリア教育としては効果的だと思います。 ・来年度から新しい制服も始まり、生徒にいろいろな選択肢ができるのはよいことだと思います。 ・地域行事に中学生が参加しやすい、もしくは手伝ってもらうような行事を検討していってもらえたらと思います。
		教育環境の充実	学期に1回，校内研修で学年を替えての研究授業の実施等，教育環境としての職員の資質をさらに高めるとともに，教育活動に集中できる環境づくりをすすめる。	アンケートによる肯定的評価80%以上，調査結果経年比較		年度末	○	1，2学期は概ね達成できている	○		○	

校長より（年度末）　**【確かな学び】**主体的に取組み,学びの一層の深化に努力する生徒や指導方法の工夫,授業改善に取組む教員の姿勢が伺えた。教職員には今後,校内研修をはじめ自己研鑽に一層取組めるよう教育課程等を工夫し個々の指導力の向上に努める機会の確保に向けて取組む。　**【豊かな心・健やかな体】**文化的・体育的行事や宿泊・校外学習等の充実を図り,生徒主体の活動や仲間づくり,登下校指導や日常の声掛け,教育相談,外部講師による学び等を通し豊かな心・健やかな体を育む取組の成果について,今後一層の充実を図り主体的取組や互いの違いを認め支え助け合い協働して完遂する機会の確実な確保等,各取組や行事等の内容の充実を図る。加えて職員間の報告連絡相談の一層の徹底を図り,共有した情報をもとに相談体制や指導体制の充実に取組む。　**【新たな学校づくり】**今年度全職員が体育大会で同じポロシャツを着用して団結力をアピールし,意識や雰囲気の向上に努めた。今後,配慮が必要な生徒情報を全教職員で共有し極め細やかな支援に活かせる体制を構築するとともに新年度からの学校群の新たな「子ども像」を目標に小中連携の取組も推進し,生徒個々に極め細やかに関われる体制で,全生徒の笑顔・全教員の笑いが絶えない学校づくりをめざす。

学校関係者評価者から（年度末）
・挨拶ができる生徒が多くなったと思います。小学校の時は挨拶が苦手な子も中学生になれば挨拶してくれ、学校内での挨拶が気持ちよくできていると思います。行事等を通して地域もいろいろな場面で協力できたらと思います。
・人権教育ありがとうございます。人権問題は多様化していいて、むずかしいですが、保護者の方にも理解してもらえたらいいと思います。生徒だけでなく、先生方も人権意識をもち、自分自身も周りの人も大切にし、心身ともに健康な学校であってほしいと思います。
・共働きがあたりまえの社会で、PTA活動に参加してもらうのは難しくなってきていると思います。
・家庭でのスマホの使用方法・時間など課題です。
・今後も教え方の工夫をお願いします。
・今後も中学校区での小中合同研修や情報共有の取組を進めていただきますようお願いします。